

平成29年度事務事業進行管理表(自治振興センター用)
(環境ISO管理)

事務事業名	一般業事務・施設管理業務
センター名	

竜丘

1 環境側面及びそれに伴う環境影響

通常時	非通常時	緊急事態	環境側面	影響評価						著しい環境側面
				1	2	3	4	5	6	
○			紙の消費	×	×	×	×	×	—	
○			電気・LPガスの消費	×	—	×	—	×	—	
○			水の消費	×	—	—	—	×	—	
○			施設の緑化	—	—	○	○	—	○	
	○		フロン漏れ	×	—	×	—	—	×	
	○		公用車の廃棄	×	×	—	—	×	×	
		○	灯油流出	×	—	—	×	—	×	
		○	LPガス漏れ	×	—	—	—	—	—	

【作成上の注意】

- 「通常時」は通常の業務・作業の条件下で発生する可能性が大きい場合、「非通常時」は業務・作業の開始・終了時、停止時、故障時などの条件下で発生する可能性が大きい場合をいいます。
- 「環境側面」は、環境と相互に作用する、又は相互に作用する可能性のある組織の活動又は製品又はサービスの要素です。
- 影響評価は、1：典型7公害(大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)、2：廃棄物発生/抑制、3：地球温暖化の進行/抑制、4：自然の破壊/保全(緑地、生物多様性、水辺)、5：資源の枯渇/保全、6：その他(有害物質、景観)の分類ごとに実施します。
- 評価基準は、分類ごとに、環境側面が与える環境影響について、影響範囲、発生頻度、影響の重大性(最悪を想定)を考慮して判断します。
- 影響評価の結果の表示は、良い影響大：○○、良い影響小：○、影響なし：—、悪い影響小：×、悪い影響大：××と表記します。
- 影響評価の内容により、課長が著しい環境影響があると判断した場合は、「著しい環境側面」とし、○を入力します。

2 環境側面に伴う順守義務

法令、例規、利害関係者のニーズと期待のうち順守すると決定したもの	要求事項	順守評価	
		中間	年間
廃棄物の保管	廃棄物保管の表示、分別の徹底、飛散・流出・浸透・悪臭防止の措置	○	○
施設の管理	防火管理者の選任	○	○
施設の管理	消防用設備の点検(1回/年)及び結果報告	×	○
施設の管理	避難訓練計画の届出及び訓練の実施(1回/年)	×	○
フロン類の漏出防止	第一種特定製品の簡易点検と廃棄時の適正な処置の実施	○	○
家電類の廃棄	家電リサイクル法に応じた廃棄時の適正な処置の実施	—	—
公用車の廃棄	リサイクル券の適正な保管及び廃棄時の適正な処置の実施	—	—

- 順守評価が必要なものについて記載します。
- 組織の状況等の検討表の「2 利害関係者のニーズと期待」において「うち、順守義務とするもの」と決定したものを転記します。
- 順守評価結果は、良：○、否：×、期間中に要求事項に該当する内容なし：—で表示します。

3 リスクと機会(上記1及び2に関係するもの)

リスク (マイナス要素)	紙・電気等の消費、産業廃棄物の排出、火災の発生、灯油の流出、フロン類の漏出
機会 (プラス要素)	グリーン商品の購入、施設の緑化

4 環境目標

番号	区分	環境目標 ①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	年間スケジュール 環境目標達成のための 手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
				進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況
1	①	紙の消費量の抑制	両面印刷、裏紙利用の推進 と会議資料の簡略化による 紙の削減に努める。 半期ごとに検証する。	紙の消費量について、 前年対比16.1% 減となっており目標を 達成している。	○	紙の消費量について、 前年対比13%減 と、裏紙使用徹底に より、目標の3%を大 幅に上回ることがで きた。	○
	②	年間を通じて					
	③	対前年比3%減を目指す					
2	①	施設の緑化を	施設入口等にプランターや観 葉植物を設置して管理する。 夏季はグリーンカーテンを設 置する。	自治振興センターの周 辺に、ゴーヤ、朝顔、 きゅうり、ミニトマト、なす を植えて、明るい職場環 境をつくることのできた。	○	冬期間も事務所内に 地域の方々からいた だいた鉢植えを置く など、年間を通して緑 化につとめることがで きた。	○
	②	年間を通じて行い					
	③	明るい環境づくりを目指す					
3	①						
	②						
	③						

平成29年度事務事業進行管理表(自治振興センター用)
(環境ISO管理)

事務事業名	団体活動支援業務
センター名	

竜丘

1 環境側面及びそれに伴う環境影響

通常時	非常時	緊急事態	環境側面	影響評価						著しい環境側面
				1	2	3	4	5	6	
○			河川美化活動の実施	—	○	—	○	—	○	
○			里山保全活動の実施	—	○	—	○	—	○	
○			こみゼロワーク運動の取組の展開	—	○	—	○	—	○	
○			環境家計簿による省エネ活動の推進	—	○	○	—	○	○	
○			芝生化・ガーデニング事業による景観整備への取組	—	—	○	—	—	○	
○			太陽光発電事業	—	—	○	—	○	○	

【作成上の注意】

- 「通常時」は通常の業務・作業の条件下で発生する可能性が大きい場合、「非常時」は業務・作業の開始・終了時、停止時、故障時などの条件下で発生する可能性が大きい場合をいいます。
- 「環境側面」は、環境と相互に作用する、又は相互に作用する可能性のある組織の活動又は製品又はサービスの要素です。
- 影響評価は、1：典型7公害(大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)、2：廃棄物発生/抑制、3：地球温暖化の進行/抑制、4：自然の破壊/保全(緑地、生物多様性、水辺)、5：資源の枯渇/保全、6：その他(有害物質、景観)の分類ごとに実施します。
- 評価基準は、分類ごとに、環境側面が与える環境影響について、影響範囲、発生頻度、影響の重大性(最悪を想定)を考慮して判断します。
- 影響評価の結果の表示は、良い影響大：○○、良い影響小：○、影響なし：—、悪い影響小：×、悪い影響大：××と表記します。
- 影響評価の内容により、課長が著しい環境影響があると判断した場合は、「著しい環境側面」とし、○を入力します。

2 環境側面に伴う順守義務

法令、例規、利害関係者のニーズと期待のうち順守すると決定したもの	要求事項	順守評価	
		中間	年間

- 順守評価が必要なものについて記載します。
- 組織の状況等の検討表の「2 利害関係者のニーズと期待」において「うち、順守義務とするもの」と決定したものを転記します。
- 順守評価結果は、良：○、否：×、期間中に要求事項に該当する内容なし：—で表示します。

3 リスクと機会(上記1及び2に関係するもの)

リスク (マイナス要素)	
機会 (プラス要素)	河川環境保全、環境意識の向上、廃棄物の抑制、景観保全、自然エネルギーの利用、省エネの推進

4 環境目標

番号	区分	環境目標 ①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	年間スケジュール 環境目標達成のための 手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
				進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況
1	①	河川美化活動を	水辺等美化活動や天竜川環境美化活動など幅広く参加を呼びかけ計画的に実施する。	天竜川美化活動を7月2日に実施することができた。水辺等美化活動5月14日・7月23日・8月27日に実施することができた。	○	天竜川美化活動を2月24・25日に実施することができた。	○
	②	年度末までに					
	③	5回以上実施する					
2	①	里山保全活動を	里山連絡協議会による遊歩道・ギフチョウ公園整備、財産区作業を幅広く参加を呼びかけ計画的に実施する。	臼井秘境5月27日・8月19日(2回)・ギフチョウ公園8月19日(1回)の整備作業を実施した。	○	臼井秘境10月14日(1回)・ギフチョウ公園10月14日(1回)の整備作業を実施した。	○
	②	年度末までに					
	③	5回以上市民参加で実施する					
3	①	太陽光発電事業により	収益金で、ガーデニング事業、2施設の芝生化実証事業を実施する。	遊休農地を活用して、チューリップ・ひまわりを一面咲かせることができた。2施設の芝生植栽7月3日と管理を行なった。	○	11月に保育園と連携し、チューリップの球根を植栽する作業実施した。芝生も継続して管理し順調に生育している。	○
	②	年間を通じて					
	③	収益金を景観形成・環境教育に活用する					